

### 新年あけましておめでとうございます

会長 堀口照美

しかし昨年の選挙で、憲法改悪を声高に叫ぶ議員が多数当選し、おめでとうとは言えない大変な年になりました。日本中の「憲法9条を守る会」の努力や、多くの「戦争はいやだ！」の声も水泡に帰してしまいそうです。今私たちは、何を考え、何をすべきかを突きつけられています。ある政党の後援会ニュース「みのり」235号の「11・11原発いらん！KOBESOUNDデモに参加して」の中に、「私は声を出すすべを持たない一般のピープルです。でもこの場所に来るといっただけで意思を表明できることがうれしい」と、また「怒りの鉄拳をふりかざすよりも、共有できる思いを拓げていくような運動で、原発のない優しい未来をつくりていきたいと思ひます」と結んでありました。



マハトマ・ガンジーは、「暴力は対抗的な暴力によって、一層大きな暴力を引き起こしてきただけである。けれども私は非暴力ははるかに暴力に勝ることを、敵を許すことは敵を罰するより雄々しいことを信じている」「真実と平和がなければ、人間性が破壊されるだけである」と言っています。

改憲派は、憲法9条は押しつけられた憲法だから改憲しなければいけない、と言いますが、良いものは良いのです。またアジアの平和のために軍備を、とも言われますが、平和のための戦争などないのです。第二次世界大戦を経験された世代の方々が年々少なくなっています。でも世界に目を向ければ至るところで戦争があり、尊い命が失われています。日本は戦後67年間、戦争の名のもとに一人も殺してはいません。誰もが命の尊さ、重さを自分の命として、我が子の命として考えれば考えられるはずで

す。憲法9条は世界の宝です。誰もが平和で平穏な生活ができますよう祈り、新年のごあいさつにさせていただきます。

## 9条の会、今こそ出番！

右の記事(毎日新聞)は、昨年12月16日(日)に行われた衆議院議員選挙で当選した新議員の回答です。憲法9条改正について342人、72%が賛成し、改憲の発議に必要な3分の2を衆議院では上回っています。

今回の選挙では民意と議席数がかけ離れていること、民意を反映しない選挙制度—小選挙区制—の是非がこれまでになく議論になっていますが、7月に行われる参議院議員選挙で今回と同様の結果になれば、憲法改悪は現実の問題になります。

安倍首相は、まず憲法第96条を変えて、発議に必要な3分の2を2分の1にしようとしています\*が、朝日新聞の世論調査によれば(記事12月28日(金))、この条件緩和に賛成41%、反対43%、自民党が9条を改正し、自衛隊を国防軍にすることを主張していることに対しては、賛成32%、反対53%になっています。

1 13版 2012年(平成24年)12月18日(火)

**集団的自衛権の憲法解釈**

見直す必要はない(82人) 17%  
見直す(370人) 78%  
見直すべきだ(21人) 5%

**憲法9条の改正**

反対(100人) 21%  
賛成(342人) 72%  
その他(31人) 7%

※当選者アンケートから

**9条改正 72%賛成**

集団的自衛権 解釈見直し 78%

当選者アンケート

毎日新聞は17日、衆議院の全候補者アンケートを占め、「見直す必要はない」と答えた新議員の回答を再集計した。集団的自衛権の行使を認めていない政府の憲法解釈について「見直すべきだ」と答えたのは370人で78%。憲法9条改正については、72%の342人が賛成。改憲の発議に必要な「衆参両院の3分の2」のうち、衆議院側の条件を満たすことになる。

集団的自衛権の行使を認め、憲法解釈の見直し派は自民党の93%に達した。日本維新の会は回答者全員が「見直すべきだ」と答え、みんなの党も見直し派が83%を占めた。一方、自民と連立を組む予定の公明党は87%が反対。民主

党は「見直す必要はない」45%で、「見直すべきだ」39%を上回った。

09年衆議院選の当選者の回答をみると、集団的自衛権の憲法解釈を「見直す必要はない」が50%を占め、「見直すべきだ」の37%を上回っていた。9条改正も反対が51%と過半数で、賛成は34%。自民党が大勝した今回、新議員の志向は前回選挙と大きく変わっている。

自民党は衆議院選の政

(記事の続きは裏)

衆院選直後の12月18日(火)、「憲法改正問題に関する懇談会」(座長・羽柴弁護士)が行われました。憲法改悪への非常に強い危機感の中で、今私たちは何をすべきか、が話し合われました。Sさん(80歳)は、80年前ナチスが登場した時の状況を述べ、「1933年ナチスの得票は14%、それが翌年には49%になった。この夏の参院選を通じて、そのようにならないという保障は全くない。緊迫した状況は、あつという間になだれを打つように起こる。私たちはそれぞれの立場で一生懸命護憲の運動をやってきたが、それでもこんな状況になっている。今、私たちにやれる一番大切なことは、一緒に行動することではないか。やせ細っても皆で力を合わせれば、この状況を変えることができるのではないか。その道を探していこう」と発言され、参院選までに大勢の人が関心を持ってくれるような「何か」をやることになりました。

明文改憲を許さない、解釈改憲を許さない(集団的自衛権を認める。社会保障は自助共助を基本に)、憲法無視の政治を許さない(震災問題、原発問題、オスプレイの配備)のために、できるだけ多くの人に声をかけましょう。

\*2011年6月7日、「96条改正議連」設立総会が行われ、共産、社民以外の政党から100名が参加。9条明文改憲の前に、改正手続きに手をつけるという意見は、改憲派の定番になりつつあります。

**<資料>自民党・安倍総裁会見(憲法)(2012年12月17日)**

首相として国民投票法で憲法を変えていくための橋をかけた。いよいよ国民みんなで橋を渡り、最初に96条の改正、改正条項の改正を行う。(改憲に必要な)3分の2の勢力に参院はほど遠い。次の参院選でそれを達成できるか分からないが、努力を続けたい。その点は日本維新の会、みんなの党も基本的に同じだろう。

だ。新政権発足後、政府の憲法解釈の変更に向け、議論が本格化すると思われる。	いた。民主党は63%、公明党は90%がそれぞれ反対した。憲法改正は、91%にあたる42	が反対した。毎日新聞は11月16日の衆院解散後から候補予定者にアンケートを実施した。定数480人のうち、衆院選で当選した473人が回答し、回答率は98・5%。	回答者の内訳は、▽自民291人▽民主56人▽維新51人▽公明31人▽みんな18人▽未来9人▽共産8人▽社民2人▽国民新党、新党大地各1人▽無所属5人だった。【松尾良】
一方、9条改正を政党別にみると、自民が90%でトップで、維新84%、みんな78%と続	9人が賛成。反対は32人、7%にとどまった。共産、社民両党は三つの設問全てに全回答者		

**催し物の案内**

①メディアを考える市民のつどい

とき：1月26日(土) 開場13:00 開会13:30  
 ところ：神戸市立生田文化会館(神戸市営地下鉄「県庁前駅」西3番出口徒歩約5分)  
 講演「原発報道の敗北と衆院選なだれ現象の深層」坂本充孝さん(東京新聞記者)  
 参加費：1,000円(学生500円) 主催：NHK問題を考える会(兵庫)

②渡辺治教授迎え、緊急！憲法情勢学習会

とき：2月5日(火) 18:30～ ところ：県民会館9階ホール  
 共催：兵庫県憲法会議、憲法共同センター

③「桜ヶ丘・押部谷」九条の会の催しは下記のように変更になりました。

とき：2月10日(金) 13:30～ ところ：桜ヶ丘ジョイフル集会室  
 講演「憲法のはなし」小森陽一さん(東大教授・九条の会事務局長)

④「西神ニュータウン9条の会」6周年のつどい

とき：2月10日(金) 13:30～ (13:00から総会を行います)  
 ところ：西区民センター大ホール 資料代 500円(学生無料)  
 講演「今を生きる私たちの選択！～憲法が教えてくれたこと～」  
 伊藤真さん(伊藤塾塾長、弁護士、日弁連憲法委員会副委員長)

⑤「福島再生の可能性はどこにあるか？」—シンポジウム in 福島参加応援の旅(池田香代子さん参加)  
 旅行日程 2013年3月9日(土)～3月11日(月) 旅行費用 73,900円  
 申し込み締め切り 2月8日(金) \*参加ご希望の方は、白井までお尋ね下さい(ちらしあります)。

<b>第64回世話人会</b>	とき：2013年1月28日(月) 13:30～15:30ごろ
	ところ：岩岡連絡所1階畳の部屋 *日、場所これまでと変わっています。
6周年記念行事について検討します。どなたでもご参加下さい。	
<b>憲法9条の会・岩岡</b> 連絡先(事務局) 白井篤子(078-967-2758)	

